

私のほっとな時間

HOT

きらっとLIKE WORK
KAWACHINAGANO CITY

河内長野で輝いている人に聞きました

VOLUME
12

交通安全運動の推進で受章
尾花 靖元さん



安全を支える

当たり前の

地域を見守り続け

ほっと

大切にしているもの

POINT



多年にわたる交通安全啓発運動の功績が認められ、交通安全分野の最高峰の栄誉である交通荣誉章緑十字金章を今年の1月に受章。

交通安全以外にも消防団員として50年間の活動や、地元神社での神事、地域行事などにも積極的に関わってきました。時には駐在所の方と一緒に倒木の片付けをすることも。地域の人から頼りにされる尾花さんは、安全で安心できるまちをつくるため、これからも活動を続けます。

昭和35年に運転免許を取得して以来、地域の交通安全活動に関わり続けてきた尾花さん。交通安全協会の地区委員長や副会長を歴任し、現在も常任理事として活動を続けています。

「気がついたらここまで来ていました」と微笑む尾花さんは、講習会や見守り活動、交通安全啓発運動への参加など、65年以上にわたり地域の安全を支えてきました。

活動を始めたころは、今よりも子どもが多く、車の数は少なかったといいます。時代とともに交通環境や地域の様子は変化しましたが、変わらないのは「事故を防ぎたい」という思いです。雨や風の強い日も登下校の時間帯には交差点に立ち、子どもたちの安全を見守ります。「おっちゃん！」と声をかけてくれる子どもたちとのやりとりが

日々の楽しみで、「地域の子はみんな知ってる。人のために動くことが好きだし、子どもだけでなく地域の人との日常的な会話があるのも長年続けてこられた理由ですね」と振り返ります。

「横断歩道で停車した運転者が会釈してくれたりすると、すごく気持ちがいい。そういう小さな心がけが安全安心なまちにつながると思います。無理な追い越しやおおり運転は、ほんまに危ない。大事なのは、事故を起こさないこと。年齢に関係なく交通ルールは必ず守ってほしいですね」

85歳の今、意識するのは次の世代へのバトン。「私もできることを続けたいですが、仲間も高齢者が中心です。この活動に興味のある方は、ぜひ気軽に参加してほしいです」と笑顔で話してくれました。